

ひらかた大菊人形の歴史

古

代、中国から伝わった菊は、日本人にとってもなじみの深い花の一つです。「重陽の節句」(陰暦9月9日)では、菊酒を飲み、不老長寿を願うという行事が行われました。平安貴族たちに好まれた菊ですが、江戸時代の品種改良ブームで種類が増え、文化年間(1812年頃)に江戸で始まったとされる菊で人物や鳥獣を模した菊細工が流行します。現在のような等身大の人形が作られるようになったのは、明治に入ってからといわれています。夏目漱石の「三四郎」では東京団子坂の菊人形の、鳴り物入りで賑やかな当時の情景を描いています。

かな当時の情景を描いています。

その頃から、関西の私鉄会社は旅客誘致策の一つとして、こぞ菊人形を開催し始めます。阪神の香櫛園、南海の住吉公園など。そのような中、京阪電鉄は明治43年に香里遊園地(寝屋川市・友呂岐神社付近)で「雪月花 三段返し」という興行を打って評判を呼びました。しかし、香里周辺を住宅地として開発しようという京阪の方針により、場所を枚方町に移し、大正元年、改めて「ひらかた菊人形」として開催されました。

会場を歩いて見て行く「見流し」に対し、「段返し」とは、一つの舞台上で背景を換え人形を動かす、場面を展開していく見せ方のこと。約4秒で場面転換してみせた枚方の段返しは「暗

中早がわり」といって、大好評を博しました。さらに、活弁士やお囃子、オーケストラの演奏などが場を盛り上げ、さながら芝居か演劇のような舞台だったといえます。

京阪電鉄の菊人形は、大正8年から宇治に場所を移しますが、大正12年以後、再び枚方に定着します。興行のテーマは時には時代を反映し、戦時色濃くなると、人形も戦争一色となっていました。そして昭和19年には、菊人形館が軍需資材に供出され、遊園地も農地と化し、ひらかた菊人形の歴史が一旦途絶えてしまいます。



大正元年 入場口



昭和2年 招待状



園内マップ



菊が描かれた菊電車



大仏開眼

スケールの大きな展示

秋・薫る・菊花に永遠の願いこめて



昭和61年「武蔵坊弁慶」の段返し
同じステージ上で、次々と場面が入れかわります。

戦

後、一時吹田市千里山で再開された菊人形は昭和24年、再び枚方に戻ってきました。歌劇団によるレビュー、場面説明のうぐいす嬢などの演出も加わり、一層華やかになっていきます。昭和25年には、菊花カーニバルと銘打つ、「菊花コンクール」が始まり、菊に関する資料を集めた「菊文庫」、菊を描いた京阪の菊電車が登場し話題を呼びました。さらに、地上4階、地下1階、収容人数4千人という大劇場が完成。昭和39年の「赤穂浪士」以来、NHK大河ドラマを

ストーリー展開させる構成が主流となります。遠方からの観光バス客も訪れ、「枚方」といえば「菊人形」といわれるほどになってきました。「枚方市の花は「菊」です。現在全国で開催されている菊人形の中で、枚方は最古、最大級のもので、この国内随一の菊人形は一朝一夕にできたものではありません。江戸に始まった大衆の娯楽も、芸術の域に達している観があります。しかし、逆に作り手の後継の問題、時代のニーズなど、その存続は岐路にあるのかも知れません。

伝統には「守り続ける」ことの困難さが付きまといまいます。でも、想像できますか。「菊人形」のな枚方を。枚方の誇る「菊の芸術」は、秋の「娯楽」として、いつまでも私たちに魅了してくれることを願います。

写真協力
京阪電気鉄道(株)
ひらかたパーク
大西工芸社



ひらかた大菊人形テーマ簡易略年表

- 明治43 雪月花
- 44 忠臣蔵
- 大正元 三都の芸人と美人似顔
- 2 鳥羽伏見の戦い 他
- 3 第一次大戦のキネオラマダーク人形
- 12 東部大震災実景等人形 他
- 15 菊花千余種見流し
- 昭和3 六歌仙 壇ノ浦 他
- 4 太閤記
- 5 忠臣蔵 レビュー
- 10 歌舞伎絵巻
- 13 支那事変聖戦忠勇武烈
- 14 菊花忠孝
- 17 大東亜戦争菊人形
- 18 七生報國
- 19~20 まで戦争のため中断
- 25 菊花カーニバル
- 26 大仏供養 義経千本桜
- 28 古今文豪名作集
- 29 新平家物語
- 30 新浦島太郎
- 31 西遊記
- 32 伝統50年特集 新版かくや姫
- 33 大阪城物語
- 35 段返しが「秋のおどり」に
- 39 赤穂浪士 国際菊花ショー
- 40 王将一代
- 42 8月に大劇場焼失 「秋のおどり」
- 44 天と地と
- 46 天皇の世紀
- 49 勝海舟
- 50 にっぽんの祭り
- 52 花神
- 53 太閤秀吉
- 54 源義経
- 55 西遊記
- 56 おんな太閤記
- 58 浪華
- 59 宮本武蔵
- 61 武蔵坊弁慶
- 62 独眼竜政宗
- 63 武田信玄
- 平成元 春日局
- 2 翔ぶが如く
- 3 太平記
- 以後、ほぼNHK大河ドラマに準ず
- 13 90周年記念 源氏物語



勝海舟

大阪城物語 入場口



大道具師による見事な造形は、館内に入る前から観客を楽しませてくれる